



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp



2019年4月11日 vol.58

東海第二原発についてのさまざまな声



県民投票の会 立ち上がる！

そこで原発の再稼働について「県民投票」の実現をめざす動きが始まりました。

東海第二原発 再稼働か？

茨城県東海村にある東海第二原発は、1978年に営業運転を開始し、東日本大震災以降は停止していましたが、2018年、原子力規制委員会の20年の運転延長の認可を受け、再稼働の準備が進められています。

原発の再稼働には県と地元自治体の同意が必要です。知事は「県民の声を聞いて判断する」といっていますが、その方法は明言していません。

県民投票アクションはじまる 東海第二原発 話そう 選ぼう

現在、市民団体「いばらき原発県民投票の会」が、県民投票を実現するために、県内各地で「東海第二原発って今どうなってるの？」「県民投票って？」「実現するために何をするの？」など様々な疑問や意見を話し合う「県民投票カフェ」を開こうと呼びかけ、活動への参加を募っています。
(詳しくは会のHPをご覧ください)

県民投票は対話のチャンス

つくば市では2015年に総合運動公園基本計画の賛否を問う住民投票が行われ、総合運動公園計画が白紙となりました。

原発については、様々な意見がありますが、県民投票では、投票が行われるまでの過程が大切です。情報が増えることで、多くの人の関心が高まり、県民同士が話し合い、考える機会になります。

つくば・市民ネットワークでは、これまでの経験を活かし、県民投票の実現を目指して取り組んでいます。
皆さんのご参加をお待ちしています。

WEB



Facebook



Twitter



いばらき原発県民投票の会
<https://ibarakitohyo.net/>

アクションいろいろ

県民投票カフェに参加する

「県民投票って？」
皆でざっくばらんに
話し合います

署名を集める 受任者になる

県内の有権者なら
だれでもなれます
登録は
<https://ibarakitohyo.net/>
FAX 029-307-4182

寄付する

ゆうちょ銀行
00270-3-89617
いばらき原発県民投票の会
常陽銀行
つくば並木支店
普通 1455022
いばらき原発県民投票の会

県内目標
7,000人

県民投票Caféつくば

5月6日(祝月)
13:30~15:30



つくばイノベーションプラザ
(つくば市吾妻1-10-1 ノバホール隣)

テーマ：東海第二原発は今…
県民投票ってなあに？

入場無料

主催：いばらき原発県民投票の会
Tel 070-5079-6308 Fax 029-307-4182
e-mail ibarakitohyo@gmail.com

共催：つくば・市民ネットワーク
当日の連絡先 Tel 090-9373-4100

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

5月14日(火) 10:00~12:00	荃崎交流センター	研修室
5月16日(木) 10:00~12:00	つくば・市民ネットワーク事務所	
5月18日(土) 15:00~16:30	きっちん・すみれや(みどりの中央29-5)	
5月24日(金) 10:00~12:00	筑波交流センター	学習室

会派代表質問

会派代表質問とは、3月議会で新年度の市長の所信表明に対し、政策的な観点から行う質問です。



「つくば・市民ネットワークはどんな社会をめざすの?」とよく聞かれます。私たちが最も大事にしているのは、多くの市民参加で対話によるまちづくりです。

就任3年目の五十嵐市長のもと、市民ネットがこれまで提案してきた市民参加のまちづくりに向け、様々な条例が制定され、つくば市政は市民に大きく開かれ始めています。

市民参加の機会が増え、積極的に参加する市民も増え、これからは市民の意見を聴き、まとめていく力が行政・職員に強く求められていると実感しています。

そこで、2019年度市政運営の所信について、市民参加推進、対話によるまちづくりの視点から質問しました。



つくば市議会議員
市民経済委員会副委員長
皆川ゆきえ

皆川 市長の所信には「誰一人取り残さないという包摂の精神に基づき、市民との丁寧な対話を積み重ねながら、つくば市が抱える諸課題の解決に向けて一層加速する」とあります。丁寧な対話を積み重ねるために、どのように取り組んでいくのですか。

五十嵐市長 市内6地区に伺い、住民と顔を合わせて意見交換するタウンミーティングの機会を設けています。さらに今年度は中高生を対象としたタウンミーティングも開催しました。また、各担当部署により特定のテーマや事業についての意見交換会やワークショップ、アイデア募集等を多数実施し、市の政策や事業等について説明や情報共有を行うとともに、市民から様々な意見、提案等を聴取しています。今後も市民との丁寧な対話を通じて、多様な意見、提案を聴取し、市が抱える諸課題の解決につなげていきます。

皆川 市民参加を進めるために市民主体を支援する力、会議を進行していく力が必要です。こういった会議の進行や支援をするファシリテーション力養成の、研修機会をもっと増やすべきではないでしょうか。

五十嵐市長 市民との対話においても、また、あらゆる機会において、ファシリテーションのスキルは重要なものと考えております。今後も職員の研修につきましては継続し、より充実させた形で実施をしていきたいと思います。



このほか、市民協働政策の一つであるアイラブつくばまちづくり基金の増額、地区相談センターの評価と展望、教育大綱、不登校児の教育機会確保、青い羽根基金(こども未来支援)、マイナンバーによるインターネット投票、について質問・提案しました。

小学校からの英語…AET(英語指導助手)に求めるものは？

2020年度から新学習指導要領となり、小学5年生から英語が教科化されますが、つくば市ではその準備のため、今年度から授業コマ数を増やしAETを増員しています。

Q1.AETって? Assistant English Teacher の頭文字で、「英語指導助手」と訳されています。学級担任による英語指導を補助する役割で、一昨年度まで20人だったその数を27人まで増やすことになりました。条件は外国人であること、大卒以上であること、基本的な日本語が分かること等です。

Q2.資格は不要? 何らかの英語教育に関する資格は要らないのでしょうか。答弁は「そういう条件は設けていない」というものです。あくまでアシスタントであり授業の組み立ては学級担任が行うので問題はない、としています。しかし学級担任も英語の教え方を教職課程で学んできておらず、「英語を教える自信がない」という教員が多いという調査結果が出ています。だからこそ実際の授業においてAETが与える影響は大きく、一定の質の担保は必要だと訴えました。

Q3.実際の配置は? 1年で3回替わります。つまり夏休みまではA先生、冬休みまではB先生、年度末まではC先生となります。

これほど短期間で入れ替わるAETに、子ども達の学びを支援することができるのでしょうか。せめて1年間は固定して欲しいと要望しました。

Q4.評価は? AETの評価は、勤務校の担当教員と教育局が行っているとのことでしたが、それで十分なのでしょうか。AETのことに限らず、つくば市は教育委員による学校訪問がなされていない状況で、他市に比べて現場が閉じられている印象が拭えません。まずは教育委員の学校訪問を早期に実現するよう要望しました。

そもそもこの質問をするきっかけになったのは「英語が得意な子とばかりやり取りしていてつまらない」「小学校の英語のせいで中学に行く前に英語が嫌いになってしまった」という子ども達や保護者の声でした。小学校段階では、英語に苦手意識を持たせない工夫が必要です。AETの質の向上に期待します。



つくば市議会議員
総務委員会副委員長
小森谷さやか

- 一般質問項目
- ・外国語活動とAET(英語指導助手)について
 - ・統合型校務支援システムの導入について
 - ・新・放課後子ども総合プランについて



2019年3月議会議決結果

※「幼児教育・保育の無償化に関する意見書」は、全会一致で可決しました。現状では待機児童解消や保育士確保が最優先であり、無償化に反対はしないが、公立幼稚園・保育園の保育料について市町村の全額負担が想定されているので、国の責任において必要な財源を十分に確保するよう求めました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)		会 派 名	つくば・市民ネットワーク	自民つくばクラブ ・新しい風	つくば市政クラブ	日本共産党	公明党	つくば政清会	山中八策の会	新社会党	創生クラブはがくれ
議案	ウェルネスパークの指定管理者の指定について	可決	○	×	○ ×:須藤、鈴木	○ 欠席:滝口	○	○ ×:木村清	○	○	×
請願	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	○	×	×	○	×	×	退席	○	×
請願	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書を国に提出することを求める請願書	採択	○	×	○	○	○	○	×	○	○
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数28 議長:神谷)			*皆川、北口 宇野、小森谷	*小久保、久保谷 ヘイズ、五頭 神谷、黒田、長塚	*塚本、鈴木、須藤 柳沢、高野進、大久保	*滝口 橋本山中	*小野 浜中山本	*木村修 木村清	*塩田	*金子	*高野文



つくば市議会議員
都市建設委員会副委員長
宇野 信子
一般質問項目
・障がいのある人への合理的配慮について
・東海第二原発の再稼働問題

茨城国体を契機につくばをバリアフリーの街に！

今年は茨城国体・全国障害者スポーツ大会が行われ、つくば市では車椅子バスケットボールがカピオで、アーチェリーが荃崎運動公園で開催されます。この機会に市内のバリアフリー状況をチェックし、改善する取り組みを進めることについて質問しました。

- 会場や周辺のバリアフリー対策は進んでいるか？**
県・競技団体・障害者団体・市で会場のバリアフリー調査を行った。改善点は県の方針で仮設等で対応していく。会場周辺の道路は車いすを使用して確認したが特に問題はなかった。今後も随時確認し、大会開催に向け万全を期していく。
- 宿泊施設や飲食施設のバリアフリー状況は？**

- 県が準備する各種宿泊支援用具を、大会後も市内の宿泊施設で継続活用できるよう県に要望し、ホテル旅館組合にも呼びかけていきたい。
- スロープ等の設置費を補助する合理的配慮支援事業が昨年始まったが、あまり広がっていない。実例や金額の入ったチラシや、協力店にステッカーを貼り、外から分かるようにしては。**
- チラシはイラストで分かりやすくしているが、ご意見いただきながら考えていきたい。ステッカーは準備中。
- 障害者スポーツ大会をチャンスととらえて市長自らPRに努めていただきたいが、如何か。**
- 国体、障害者スポーツ大会が打ち上げ花火にならないよう、この機会に市のバリアフリー化を進めていきたい。担当課も一生懸命回っているが、市民の皆様にもお力をいただきたい。

市民ネットも当事者の方々と共につくばのバリアフリーを広げていきます。スロープなどを導入したいお店などがあれば、ぜひお声かけください。

- 宿泊施設は8施設の利用が確定している。市内の飲食店、コンビニ、公共施設などを対象としたバリアフリー情報を掲載したマップを市のホームページで公開しており、さらに登録数を増やして来訪者の利便性向上を図っていく。
- 大会のために宿泊施設に準備されるシャワーチェアなどを、大会後も市内のホテル等で活用しては？**

請願採択、次のステップへ 在宅の医療的ケア児への救護体制

昨年12月議会では、在宅の医療的ケア児等（以下、医ケア児）の災害時の非常用発電機購入の助成に関する請願が全会一致で採択されました。今後、自家発電機1台10万円を上限として給付されますが、そもそも災害時の在宅医ケア児の救護体制はどうなっているのか、3月議会で一般質問しました。

<まずは名簿の共有から>
東日本大震災後、内閣府から避難行動要支援者について取組指針が出されており、**救護体制として、関係機関で名簿の共有や個別の避難計画を立てることが望ましい**とされています。つくば市では、身体障害者手帳を持っている児者や要介護度3～5の高齢者など約4000人の登録があるが、障害が固定していない医ケア児の中には登録されていない場合もある。今後、**手帳の有無にかかわらず、自己申請し市が認めれば名簿に登録ができるので、関係各課、団体を通して周知に努めるとの答弁でした。**



<被災時に備えチェックリスト作成を>
「個別避難計画」については、現時点では作成できていないが、必要度の高い医ケア児から策定を進めていきたいとの答弁でした。
千葉県八千代市では有志の医療関係者で、在宅の医ケア児防災マニュアルを作成し、災害時の準備やチェックリストを載せ、救護体制づくりに取り組んでいます。つくば市でも在宅医ケア児者の家族が被災時の避難についてイメージやシミュレーションできるよう準備を進めたいものです。また、東日本大震災の被災では、公的な災害対応も非常に困難を極めた経験も踏まえ、自助・共助の観点から、関連団体や当事者・家族を含めチェックリストなどの作成をしてみても提案しました。
<災害救護は公だけでなく地域で体制づくりを>
今は認知症や高齢者の生活支援がクローズアップされている地域包括支援体制ですが、避難行動要支援という観点では、**今後障がい者や在宅医ケア児者も含め、救護体制づくりが進むよう市民ネットでも調査研究を続けていきます。**



つくば市議会議員
議会運営委員会委員長
文教福祉委員
北口ひとみ
一般質問項目
・医療的ケア児等の災害対策について
・ごみ削減について

※「医療的ケア児」とは、生きていくうえで医療的なケア（人工呼吸・酸素吸入・吸痰・経管栄養等）を必要とする子どもたちです。

ウェルネスパーク、新しい指定管理者に

開所以来9年間指定を受けてきた事業者は、この間、労務管理や法令順守の点で問題が指摘された経緯がありました。今年、3月末で指定期間が終了するため、昨年12月議会に、これまでとは異なる事業者を指定する議案が出されました。全国展開している事業者でしたが、「地元事業者ではない」という理由で否決となりました。
この結果を受けて事業者の再募集～選定会議がもたれ、'12月議会で候補になった事業者と'新たな地元事業者'が合体した事業体が候補として選定され、3月議会初日に可決しました。
(賛否の結果は一覧表をご覧ください)
市民ネットは、12月・3月議会ともに、「選定検討会議は適正に行われており、新たな事業者のノウハウによるさらなる市民の利便性向上・利用者増を期待する」として賛成しました。



予算特別委員会 & 中心市街地まちづくり調査特別委員会

これまでの予算の審査では、市長提案に対して賛成か反対かという判断しかできず、分野別に審議する常任委員会では修正案を議論できないなどの課題がありました。そこで、予算特別委員会を設置し、予算全体についての議論ができるよう、予算だけ別に審議・議論する進め方になりました。今後は決算審査とも連動を検討中で、実現すれば、より一貫性を持った行政チェックが可能になります。
中心市街地まちづくり調査特別委員会は、クレオ再生を含む中心市街地のまちづくりについて、現状を整理し、今後の取り組み方について議論し、行政に対して提言することを目指しています。



2019年4月11日 Vol.58

主な活動報告

- 1/17、2/27、3/28 議会活性化推進特別委員会
1/19、2/2、2/16、2/23
原発県民投票を考える学習会参加(大子町、高萩市、
ひたちなか市、つくばみらい市、土浦市)
1/20、2/17 原発県民投票を考える会参加
1/21～22 観光開発推進特別委員会視察
(高尾山、川越)(宇野)
1/22、2/19、3/19
「障害×提案＝もうちよい住みよいつくば」参加
1/22 「学校跡地をみんなで活用しよう!」参加
1/23～24 道路・公共交通体系及びTX沿線整備調査特別
委員会視察(本庄早稲田、甘楽町)(小森谷、皆川)
1/26 周辺市街地まちづくり合同勉強会Vol.2参加
講演会「東海第二原発に緊急事態が起きたら
茨城県は?首都圏は?(上岡直見さん)」参加
1/27 つくば市議会報告会
1/31 講演会「ドイツの遊び・文化・教育(関戸博樹さん)」参加
2/ 5 講演会「障害者差別解消法をどう活用するか」参加
2/13、17 議員と話そう会開催
2/15 つくば市民ネットワーク第15回総会
2/17 東海第二原発の新規制基準適合性審査等の結果に係る
住民説明会(水戸市)参加
2/18～3/20 3月定例市議会
2/21、3/26 つくば市若手農業者・就農希望者座談会参加
2/25 財政白書学習会開催
2/26 学習会「今の日本の健康影響化学物質～身近な新製品
からイソシアネート～(津谷裕子さん)」開催
3/ 3 環境未来カフェ参加
3/10 財政白書づくりの会参加
子育てコミュニティワーク参加
3/11 さよなら原発!守ろう憲法!昼休み集会&パレード参加
3/23 みんなの登校日(旧筑波東中学校)参加
4/ 3 リサイクルセンター開所式出席
4/ 3 講演会「檻の中のライオン」協賛

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会も
傍聴しています。

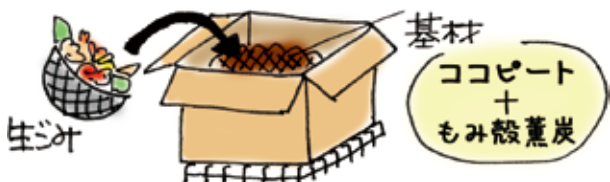


生ごみを堆肥に! ダンボールコンポスト講習会

6月1日(土) 10時半～12時

市民ネット事務所

(つくば市二の宮2-1-3 クラフトビル1F)



ダンボール箱を使って生ごみをリサイクル!
実演を交えて、方法やコツをご紹介します。要予約
お申し込みは、029-859-0264(市民ネット)まで。

学習会「今の日本の健康影響化学物質 ～身近な新製品からイソシアネート～」に参加して

香害や化学物質過敏症で苦しんでいる方からの相談をきっかけに、2月26日「NPO化学物質による
大気汚染から健康を守る会」の津谷裕子さんを講師に学習会を開催しました。

化学物質といっても地球上にあるものからつくられるのに、ど
うして有害なものがあるのだらうとずっと疑問に思っていました。
津谷さんは難しい内容を子どもにも理解できるようなわかりやす
い言葉で説明してくださり、長年の疑問が解けました。

最近は柔軟剤や消臭剤の香りや殺虫剤、除草剤などを長続き
させるように、それらの成分をマイクロカプセルに包みこむ製品が
あり、そのカプセルにイソシアネートという物質が使われています。これが毒性が極めて強く、欧
米では規制されているところもありますが、日本では生活環境での規制がないそうです。また、イ
ソシアネートはポリウレタンの原料ともなり、断熱材や衣類などあらゆる分野で使われているこ
とを知り、大変な驚きです。津谷さんの測定では、つくば市内にもイソシアネートの空気中の濃度
が高いところがあるそうです。

消費者はCMに惑わされず、自分で調べて商品を買ったり、自分を守るためにも、多くの人に伝
えたりしていかなければと思いました。(N. A)



インターン体験記

若年投票率の向上を目標に活動するNPO法人ドットジェイピーの、
学生を対象とした議員インターンシッププログラムに協力しています。
今回参加した大学生に、感想を聞きました。

2月中旬から始まった私のインターン期間は、つくば市役所から水戸まで、色々な所に足を運び、
体験しながら学んだ1か月半でした。

原発のことや、化学物質による健康被害のこと、つくば市の財政についてのことなど、これまで関
心のなかったテーマについて知る機会が多くあり、市や県の抱える問題についてもっと知りたいと
思うようになりました。

日本の若者は政治への関心が低いとよく言われます。しかし、関心はあるけれど、よく知らない、
判断に自信がない、という理由で投票に行かない人や、意思形成ができない人も多いと思います。
友人同士で政治について話したとき、よく知らないから投票できない、という声もありました。

私も初めは政治に対して何となく距離感を感じていました。しかしインターン活動を通して、問題
をより身近に感じるようになり、以前より自分の考えに自信を持てるようになりました。

これからは、「政治って実は身近なんだ」ということを周りの人に伝えられるように、インターン期
間中に生まれた発想の種を大事にして、市民政治や民主主義について自分なりに考えていきたい
です。(K. G)

国政にも生活者の声が響く政治を!

去る2月25日、つくば市民ネットワークの先輩団体である神奈川ネットワ
ーク運動で代理人、共同代表を歴任してきた若林ともこさん(立憲民主党・参議
院比例第18総支部長)との懇談会を開きました。

若林さんは、これまで横浜市議、神奈川県議として医療・介護・子育てなどの
福祉政策に、一貫して携わってきました。その原点は、17年前の共同出資のデイサービス施設設立や、
孤立しない子育てを目指した保育園を創る活動などの実践体験です。これら全てに共通するのは、
「政治は生活の道具」という考え方です。

しかし、現政権下で進む権力の集中は忖度を生み、生きづらい社会となって、人々の働き・暮らし
にも様々な歪みを生んでいます。今こそ、地域の声、生活者の声を受け止める、まっとうな政治を実現
するために力を尽くしたいと、若林ともこさんは新たな挑戦をしようとしています。



つくば市民ネットワークは、同じ代理人運動を長く続け生活
者の視点で社会のしくみを変えようと活動している、若林ともこ
さんの挑戦を応援します。そして生活者の声が響く政治を国政に
おいても実現したいと思います。



若林ともこさん